



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を つくります

地元の声

・保育園の裏ががけであり、いつ崩れるか心配だ。（要配慮者利用施設の関係者）

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆防護柵の整備により、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



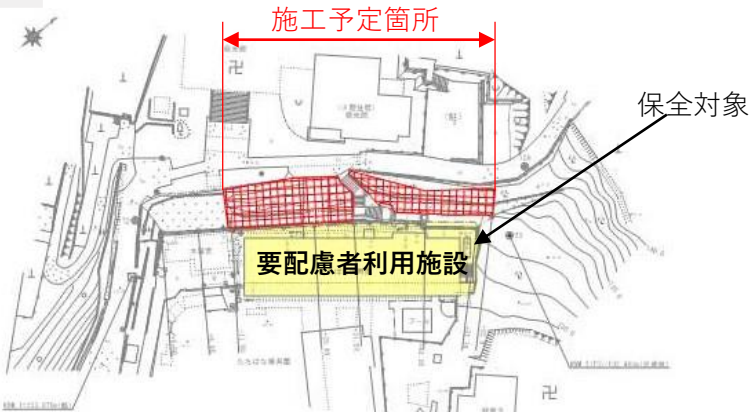
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：桐生市西久方町一丁目
- 事業内容：防護柵工 延長20m
- 事業期間：令和5年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度に設計を実施し、用地を取得します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了